

山口県医師会 第191回定例代議員会



と き
令和4年6月16日（木）
15:00～16:00
ところ
ホテルかめ福「ロイヤルホール」

開会宣言

矢野議長、定刻、代議員会の開会を告げ、会長の挨拶を求める。

会長挨拶

河村会長 過去2年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での会議等を行うことができませんでした。本日の会議は、これからの2年間、大いに飛躍を遂げるための舵取りを決める会議ですので、本日はよろしくご審議をお願いしたいと思います。

来賓挨拶

山口県知事（山口県健康福祉部 石丸審議監 代読）

山口県医師会定例代議員会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。皆様方には平素から、保健医療行政をはじめ県政全般にわたり、格別のご理解、ご協力をいただいております。心から感謝申し上げますとともに、日夜、医療現場において良質な医療の提供にご尽力をいただいていることに対し、深く敬意を表します。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症対策におきましては、診療・検査はもとより、ワクチン接種や自宅療養者への訪問診療など、多大なご尽力

をいただいていることに対し、重ねてお礼申し上げます。

さて、県政最大の課題である人口減少、少子高齢化はその進行スピードが加速しており、この困難に立ち向かい、山口県の確かな未来を切り開いていく必要があります。このため、現在、県政運営の指針である「やまぐち維新プラン」に基づき、「産業維新」、「大交流維新」、「生活維新」の「3つの維新」に掲げる重点プロジェクトをはじめ、各種施策を推進していますが、計画期間の最終年度となる今年度は、プランの目標達成を確実に成し遂げ、その成果を新たな総合計画につなげていく重要な年であると考えています。

中でも、県民誰もが希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けられる基盤を築く「生活維新」を実現するためには、今般の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、より県民のニーズに即した良質かつ適切な保健医療提供体制の構築や、地域の保健医療を担う人材の確保等にしっかりと取り組んでいかなければなりません。

どうか県医師会の皆様方には、県民の命を守るため、新型コロナウイルス感染症対策に引き続き、お力添えを賜りますとともに、地域医療の充実・発展に向け、今後とも、ご支援・ご協力をいただ

きますようお願い申し上げます。

結びに、山口県医師会の今後ますますのご発展と、本でご参会の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

人員点呼

矢野議長、出席代議員の確認を求める。

事務局、確認の上、代議員定数60名、出席代議員48名であることを報告。

議長、定款第25条に基づく定足数を充たしていることから会議の成立を告げる。

議事録署名議員の指名

矢野議長、議事録署名議員に次の2名を指名。

清水 達朗（長門市）

佐々木映子（山口市）

議事（報告事項）

報告第1号 令和3年度山口県医師会事業報告の件

今村副会長 令和3年中に24名の会員がご逝去された。

一全員起立し、黙祷を捧げる

実施事業の8項目に関し説明する。

生涯教育

中核事業である生涯研修セミナーでは、新型コロナウイルス感染症に関する「住民・行政・医療職協働の地域づくりとコロナ感染対策」をはじめ、臨床のみならず、「医学・医療におけるゲノム編集の潮流」などの幅広いテーマを取り上げ実施した。2月のセミナーでは、山口県まん延防止等重点措置の期間延長に伴い、開催形態を通常の「会

出席者

代議員

宇部市	矢野 忠生	徳山	小野 薫
山陽小野田	西村 公一	徳山	岩本 直樹
美祢市	札幌 博義	徳山	武居 道彦
長門市	清水 達朗	徳山	山本 憲男
柳井	弘田 直樹	萩市	綿貫 篤志
光市	廣田 修	萩市	森 繁広
光市	井上 祐介	山口市	成重 隆博
山陽小野田	藤村 嘉彦	山口市	佐々木映子
岩国市	小林 元壯	山口市	鮎川 浩志
岩国市	西岡 義幸	山口市	豊田耕一郎
岩国市	原田 唯成	山口市	郭 泰植
下松	山下 弘巳	宇部市	西村 滋生
下松	井上 保	宇部市	土屋 智
防府	山本 一成	宇部市	高田弘一郎
防府	村田 敦	宇部市	草野 倫好
防府	松村 康博	宇部市	内田 悦慈
防府	大西 徹	宇部市	日浦 泰博
防府	御江慎一郎	下関市	綾目 秀夫
徳山	津永 長門	下関市	伊藤 裕
徳山	高木 昭	下関市	木下 毅

県医師会

下関市	帆足 誠司	会 長	河村 康明
下関市	堀地 義広	副 会 長	今村 孝子
下関市	嶋村 勝典	副 会 長	加藤 智栄
美祢郡	竹尾 善文	専務理事	清水 暢
吉南	田邊 完	常任理事	沖中 芳彦
吉南	小川 清吾	常任理事	中村 洋
熊毛郡	沖野 良介	常任理事	前川 恭子
玖珂	山下 秀治	常任理事	郷良 秀典
大島郡	野村 壽和	常任理事	河村 一郎
		常任理事	長谷川奈津江
		理 事	白澤 文吾
		理 事	山下 哲男
		理 事	伊藤 真一
		理 事	上野 雄史
		理 事	藤原 崇
		理 事	茶川 治樹
		理 事	縄田 修吾
		監 事	藤野 俊夫
		監 事	篠原 照男
		監 事	岡田 和好

広報委員 岸本 千種

場のみ」から「会場及び Web 視聴」に変更して開催した。

第 104 回山口県医学会総会は岩国市医師会の引き受けにより開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、令和 4 年度に延期した。なお、小林会長をはじめ、2 年越しのご尽力により、去る令和 4 年 6 月 12 日に成功裏に終了した。この場をお借りして、感謝申し上げる。

医療・介護保険

令和 4 年度の診療報酬改定率は本体でプラス 0.43%、医科はプラス 0.26% となった。日本医師会診療報酬検討委員会からの諮問である「次期（令和 4 年度）診療報酬改定に対する要望項目の提出」への答申として、中国四国ブロックは「オンライン診療の算定要件の厳格化」等の数項目を要望した。

「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い」により、医療保険請求に関する 60 以上の特例的取扱いが実施されているが、審査支払機関と緊密に連携し、対応を図った。

コロナ禍に翻弄された 1 年であったが、会員から持ち上がる診療報酬の問題点等について、積極的に日医へ進言した。その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっているため、感染防止対策を図った上で、原則、集合形式により開催した。

地域医療

各圏域の地域医療構想調整会議は、中止又は書面開催となったが、「下関」圏域での公立・公的病院の再編については、調整会議の合意により、県内では 3 か所目となる重点支援区域として国へ申請することとなった。

日本医師会主催の JMAT 研修では、災害時情報通信訓練として、今回初めて、噴火火災を想定した桜島噴火災害訓練が行われた。

地域包括ケアシステムについては、今年度も郡市医師会への取組に対して助成を行うとともに、新型コロナウイルス感染症への対応として、高齢

者・障害者施設や医療機関等でのクラスター発生時に感染対策指導や患者搬送・医療支援をする対策チームへ登録し、県が実施する訓練や研修会へ参加した。

地域保健

令和 3 年度に新たに設置した母子保健委員会において、多職種連携強化のための対策等を協議した。また、各市町及び各郡市医師会に対して「成育支援事業の実施状況及び課題や問題点に関するアンケート」を行い、これらにより判明した課題等については、今後検討していく予定である。

学校心臓検診精密検査医療機関研修会では、福岡市立こども病院川崎病センターの古野憲司先生に「川崎病既往児童・生徒の遠隔期評価」について講演いただいた。

山口県糖尿病療養指導士講習会を年 4 回開催し、修了認定試験合格者 103 名を新たに「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定した。資格保有者は 878 名となった。

健康教育委員会では、今年度のテーマを「帯状疱疹」として、健康教育テキストを発行した。

新型コロナウイルス感染症対策として、オミクロン株による急速な患者増加に対応するため、郡市医師会を通して、自宅療養者に対する健康観察や健康相談、診療に協力いただける医療機関の拡充、治療薬の処方のための医療機関の登録、診療・検査医療機関の拡充に努めた。

広報・情報

コロナ禍で県民公開講座などの県民向けのイベントが開催できない状況を踏まえ、有益でタイムリーな情報を発信するため、令和 3 年度より新たに、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療の緊急事態について」等のテーマを決めて記者会見を行い、県民に対して医療に関する情報を提供することができた。

より正確な花粉飛散予測の情報を県民等へ提供することを目的に、令和 3 年度から山口大学医学部医学科システムバイオインフォマティクス講座に「AI を用いた山口県におけるスギ花粉飛散予測に関する研究」を依頼した。

医事法制

県医師会が受け付けた事故報告は、平成30年度が18件、平成31年・令和元年度は13件、令和2年度は18件で、令和3年度は11件となり、前年度に比べて減少した。

医療事故調査制度の運営については、対象事案の対応を図るとともに、調査の精度向上のため、担当役職員が「医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー（e-learning）」（日本医師会）に参加した。

勤務医・女性医師

郡市医師会勤務医理事との懇談会は実地とオンラインを併用して開催し、新型コロナウイルスの患者診察に関する取り組みや、苦勞したこと等について情報交換を行うとともに、勤務医の医師会活動への参加促進を行った。

医師事務作業補助者の活用は勤務医の負担軽減に資することから、オンラインで研修会を開催した。

座談会は、「新型コロナウイルスと働き方改革Part2」を、シンポジウムは「働き方改革について」をテーマにハイブリッド形式で開催した。

育児支援として、平成21年度に設立した保育サポーターバンクは、3月31日現在、総相談件数は224件、バンク登録者は82名である。

女子医学生キャリア・デザイン支援として、女子医学生インターンシップを実施していたが、2年連続の中止とした。

医業

山口県の「医業承継支援事業」の運営委託を受け、まずはその基盤体制を検討した。また、県内の病院勤務医（医師会員）に事業承継に関する意識調査を行い、その調査結果を今後の事業に役立てることとしている。

新規事業として、会員又はその医療従事者が新型コロナウイルスに感染あるいは濃厚接触等で休業又は外来閉鎖を余儀なくされた場合の支援金制度を創設し、申請のあった医療機関を支援した。

※詳細については本号510～527頁を参照。

議事（議決事項）

議案第1号 令和3年度山口県医師会決算の件

藤原理事 令和3年度の決算額は、収入の部は当期収入合計が、5億3,508万7,504円、前期繰越収支差額7億5,740万7,797円と合わせ、収入合計は、12億9,249万5,301円となり、予算額に対して2億2,910万2,301円の増となった。これに対して支出の部は、当期支出合計が、4億9,967万2,380円で、予算額に対して1,276万8,380円の増となった。当期収入から支出を差し引いた当期収支差額は、3,541万5,124円となり、その結果、次期繰越収支差額は、7億9,282万2,921円となった。

収入の部

Iの会費及び入会金収入は2億5,374万6,610円で、予算額に対して626万8,390円の減となった。これは主に入会金収入が535万円の減となったためである。

IIの補助金等収入は1億2,682万5,716円で予算額に対して2,701万9,716円の増となった。その内訳は1の補助金収入は3,424万9,500円で、予算額に対して、140万8,500円の減となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が実施できなかったため、支出との関連において助成金がなかったことによるものである。2の委託費収入は8,757万6,216円で、予算額に対して2,882万8,216円の増である。新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施ができなかったため、委託費収入が減った一方で、新たに県より新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務の3,421万5,610円を受託したことにより、委託費収入が増加している。4の寄付金収入は予算額40万円に対し、決算額が0となっているが、これは医学会総会に係る寄附金で、令和3年度は総会が新型コロナウイルス感染症のため開催されなかったことによるものである。

IIIの雑収入については、4,050万円8,208円で、予算額に対して612万9,208円の増となった。山福株式会社からの配当金800万円の収入があったことによるものである。

IVの特定預金取崩収入は、1億1,400万円6,970

円で予算額に対して、2,050万5,970円の増となった。その主な理由は、職員の退職に伴う退職給与引当預金の取崩しと資金運用のための財政調整積立預金を取り崩したことによるものである。なお、財政調整積立預金は資金運用のため保有していたみずほ証券の債権が償還を迎え、新たに西京銀行の定期預金での運用に切り替えたため、会計処理として同額を取崩し・積立てを行ったもので、収支への影響はない。

以上で、当期収入は5億3,508万7,504円となった。

支出の部

Iの実施事業の総額は、1億5,164万8,828円で、予算額に対する執行率は73.3%となっている。予算額と決算額の差額は5,524万3,172円であるが、県から新たに受託した新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務3,421万円が含まれているので、実質の差額は8,945万8,782円となり、執行率は62.9%となる。このうち、約60%は新型コロナウイルス感染症の影響で事業の執行ができなかったことによるものである。1の生涯教育は635万859円の支出で、執行率は44.4%となっている。学術講演や地域医学会が開催できなかったことによるものである。2の医療・介護保険は、587万6,977円の支出で、執行率は48.2%である。各種会議が開催できなかったことが主な要因である。3の地域医療は、788万6,920円の支出で、執行率は38.3%である。各種会議が開催できなかったことと、在宅医療推進に係る郡市医師会からの助成申請が見込みを下回ったことによるものである。4の地域保健は、5,966万5,034円で、執行率は167%である。これは、県から新たに新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務3,421万円を受託・実施したことによるもので、これを除く実質の執行率は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、71.2%に留まっている。5の広報・情報は、1,189万1,444円の支出で、執行率は68.1%である。県民公開講座をはじめ各種会議が開催できなかったことによるものである。6の医事法制は、42万7,580円の支出である。執行率は7.3%となっており、各種会議が開催できな

かったことが要因である。7の勤務医・女性医師は、2,085万8,596円の支出で、執行率は53.4%である。各種会議が開催できなかったことと、臨床研修センター運営事業で、レジナビ等が中止となったことによるものである。8の医業は、3,869万1,418円の支出で、執行率は62.6%である。各種会議が開催できなかったことと、医療従事者確保対策で、医師会立看護学校に対する助成について、助成申請が見込みを下回ったことによるものである。

IIのその他の事業は山口県医師会労働保険事務組合の図書費・会費や、団体扱い生命保険及びグループ保険にかかる経費である。

次にIIIの法人事業であるが、総額2億1,279万6,493円で、執行率86%となっている。1の組織の支出は2,968万3,454円で、執行率78.1%である。各種会議が開催できなかったこと等により不用額が発生したものである。2の管理費の総額は1億8,311万3,039円で、本会を運営するための毎年度経常的に要する経費である。執行率は87.4%である。(1)の報酬は、役員報酬、顧問弁護士・顧問会計士の報償金である。(2)の給料手当と(3)の福利厚生費はほぼ予算どおりの執行率となっている。また、各種会議が開催できなかったことにより(4)旅費交通費、(5)会議費について執行率が低くなっている。

IVの借入金返済支出の900万円は、令和3年4月1日で70歳になられた1号会員、また、1号会員から2号・3号に変更された会員及び退会者に対する会館運営借入金返済支出である。

Vの特定預金支出は1億2,586万9,499円で執行率は546.2%である。これは、1億円の資金運用に係る会計処理として、財政調整積立預金の取崩し、積立てを行ったことによるものである。

以上、当期支出合計は4億9,967万2,380円、執行率は102.6%となったが、予算額に計上していない新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務3,421万円と財政調整積立預金支出1億円を除いた通常ベースでの執行率は75.1%となる。

正味財産増減計算書について、経常収益は当年度4億2,108万534円で、前年度に比べて1億1,430万6,529円の減となっている。これは、昨

令和3年度山口県医師会収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

収 入 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する収入割合 (%)	備 考
I 会費及び入会金収入	260,015,000	253,746,610	△ 6,268,390	97.6	
1 会 費 収 入	243,515,000	242,596,610	△ 918,390	99.6	
2 入 会 金 収 入	16,500,000	11,150,000	△ 5,350,000	67.6	
II 補助金等収入	99,806,000	126,825,716	27,019,716	127.1	
1 補 助 金 収 入	35,658,000	34,249,500	△ 1,408,500	96.0	
	20,240,000		0		公費助成制度協力費交付金収入 20,240,000
	6,707,000		△ 248,000		日医事務助成金収入 6,459,000
	1,501,000		△ 500		日医生涯教育助成金収入 1,500,500
	1,360,000		0		医師会立看護師・准看護師養成助成金収入 1,360,000
	740,000		0		(財)労災保険情報センター事業運営費補助金収入 740,000
	1,000,000		△ 1,000,000		労災保険共済事業振興助成金収入 0
	0		0		日医「指導医のための教育リソース」補助金収入 0
	100,000		0		日医かかりつけ医機能研修制度支援金収入 100,000
	250,000		0		子ども予防接種対策助成金収入 250,000
	510,000		300,000		日医勤務医活動助成金収入 810,000
	500,000		0		日医「日本の医療を守るための国民運動」補助金 500,000
	500,000		0		世界糖尿病デー実行委員会助成金収入 500,000
	200,000		0		日本糖尿病学会支部助成金収入 200,000
	450,000		0		日医糖尿病対策地域支援助成金収入 450,000
	100,000		20,000		日医医師年金普及推進事務助成金収入 120,000
	1,500,000		△ 480,000		医療事故調査等支援団体協議会運営費助成金 1,020,000
2 委託費収入	58,748,000	87,576,216	28,828,216	149.1	
	1,553,000		△ 40,941		産業医研修委託費収入 1,512,059
	100,000		0		産業医研修協議会委託費収入 100,000
	150,000		0		学校医等研究委託事業委託費収入 150,000
	200,000		0		特定疾患専門医師研修委託費収入 200,000
	1,015,000		0		かかりつけ医認知症対応力向上研修委託費収入 1,015,000
	948,000		0		花粉症対策情報提供事業委託費収入 948,000
	251,000		0		主治医研修事業委託費収入 251,000
	985,000		△ 698,270		小児救急医療啓発事業委託費収入 286,730
	320,000		0		AED普及促進事業委託費収入 320,000
	1,594,000		△ 548,976		小児救急医療地域医師研修事業委託費収入 1,045,024
	939,000		△ 932,070		緩和ケア医師研修事業委託費収入 6,930
	3,000,000		0		女性医師保育等支援事業委託費収入 3,000,000
	13,830,000		0		休日・平日夜間がん検診整備事業委託費収入 13,830,000
	13,430,000		△ 2,646,318		山口県医師臨床研修推進センター運営事業委託費収入 10,783,682
	240,000		△ 220,000		認知症「ドクターフォーアゲ」研修委託費収入 20,000
	500,000		0		胃内視鏡検診研修事業委託費収入 500,000
	0		0		指導医養成ワークショップ開催委託費収入 0
	180,000		0		山口県もの忘れ・認知症相談医委託費収入 180,000
	0		0		医療事故調査合同協議会助成 0
	500,000		△ 300,789		医療承継に関する協議会助成 199,211
	0		34,215,610		新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務委託費収入 34,215,610
	19,013,000		△ 30		出向職員委託費収入 19,012,970
3 負担金収入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	
	5,000,000		0		山口県臨床研修推進センター運営負担金収入 5,000,000
4 寄付金収入	400,000	0	400,000	0.0	
III 雑収入	34,379,000	40,508,208	6,129,208	117.8	
1 雑収入	34,379,000	40,508,208	6,129,208	117.8	
	1,435,000	1,467,250	32,250		会館使用料収入 1,467,250
	2,000,000	1,666,999	△ 333,001		預金利子収入 1,666,999
	30,944,000	37,373,959	6,429,959		雑収入 37,373,959
					各種保険集金事務費 16,283,000
					生命保険・グループ保険事務費 7,062,359
					山福(株)・第一生命配当金 8,310,000
					人件費(事務受託4団体) 650,000
					医療事故調査支援費用 600,000
					労働保険事務組合報奨金 832,300
					講習会受講料 1,898,000
					認定産業医・スポーツ医申請手数料 675,000
					糖尿病資格更新手数料 183,000
					母体保護審査手数料 135,000
					会報購読料・会報広告料 744,300
					学校医の手引き売上 1,000
IV 特定預金取崩収入	93,501,000	114,006,970	20,505,970	121.9	
1 役員退職金引当預金取崩収入	0	0	0		
2 職員退職給与引当預金取崩収入	0	5,006,970	5,006,970		
3 会館運営協力預金取崩収入	9,000,000	9,000,000	0		
4 財政調整積立預金取崩収入	84,500,000	100,000,000	15,500,000		
5 会館改修積立預金取崩収入	1,000	0	△ 1,000		
当期収入合計 (A)	487,701,000	535,087,504	47,386,504	109.7	

支 出 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 支出割合(%)	備 考
I 実施事業	206,892,000	151,648,828	55,243,172	73.3	
1 生涯教育	14,293,000	6,350,859	7,942,141	44.4	
	8,601,000		5,334,233		学術講演研修 3,266,767
	1,020,000		530,000		専門分科会助成 490,000
	2,177,000		1,077,000		地域医学会 1,100,000
	300,000		300,000		その他の助成 0
	1,395,000		712,600		生涯教育関係連絡協議会 682,400
	800,000		△ 11,692		山口県医学会誌の発行 811,692
2 医療・介護保険	12,182,000	5,876,977	6,305,023	48.2	
	7,395,000		3,651,841		医療保険 3,743,159
	2,738,000		1,083,672		介護保険 1,654,328
	1,537,000		1,228,500		労災保険 308,500
	512,000		341,010		自賠責医療 170,990
3 地域医療	20,570,000	7,886,920	12,683,080	38.3	
	2,594,000		2,458,900		保健医療計画の推進 135,100
	4,652,000		2,397,315		救急医療・災害医療 2,254,685
	2,579,000		1,628,318		小児救急医療 950,682
	1,507,000		1,023,296		警察医会 483,704
	6,211,000		3,552,431		地域包括ケアシステムの構築 2,658,569
	1,867,000		1,462,820		有床診療所対策 404,180
	1,000,000		0		医師確保対策 1,000,000
	160,000		160,000		地域福祉 0
4 地域保健	35,721,000	59,665,034	△ 23,944,034	167.0	
	1,530,000		299,470		妊産婦・乳幼児保健 1,230,530
	6,085,000		4,405,370		学校保健 1,679,630
	24,315,000		△ 28,948,329		成人・高齢者保健 53,263,329
	3,791,000		299,455		産業保健 3,491,545
5 広報・情報	17,453,000	11,891,444	5,561,556	68.1	
	3,118,000		2,743,828		広報活動 374,172
	8,584,000		495,779		会報編集発行 8,088,221
	3,626,000		1,315,549		花粉情報システム 2,310,451
	2,125,000		1,006,400		医療情報関連 1,118,600
6 医事法制	5,830,000	427,580	5,402,420	7.3	
	1,969,000		1,562,920		医事紛争対策 406,080
	3,437,000		3,415,500		診療情報提供 21,500
	424,000		424,000		薬事対策 0
7 勤務医・女性医師	39,068,000	20,858,596	18,209,404	53.4	
	9,397,000		7,385,610		勤務医対策 2,011,390
	21,312,000		8,336,167		山口県医師臨床研修センター運営事業 12,975,833
	8,359,000		2,487,627		女性会員対策 5,871,373
8 医 業	61,775,000	38,691,418	23,083,582	62.6	
	31,227,000		19,036,142		医業経営対策 12,190,858
	30,057,000		3,571,240		医療従事者確保対策 26,485,760
	354,000		339,200		労務対策 14,800
	137,000		137,000		医療廃棄物対策 0
II その他の事業	508,000	357,560	150,440	70.4	
1 収 益	508,000	357,560	150,440	70.4	
					図書費・会費 47,200
					印刷費・通信費・消耗品費 63,960
					修繕費 246,400

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 支出割合(%)	備 考
Ⅲ 法人事業	247,458,000	212,796,493	34,661,507	86.0	
1 組 織	38,024,000	29,683,454	8,340,546	78.1	
	1,050,000		486,320		表 彰 563,680
	512,000		259,400		調査研究 252,600
	2,652,000		567,000		郡市医連絡 2,085,000
	340,000		340,000		会員の親睦 0
	4,375,000		1,928,000		弔 慰 2,447,000
	2,091,000		1,243,400		中国四国医師会連合関係 847,600
	2,848,000		1,186,600		新公益法人制度移行検討事業 1,661,400 (医事紛争関係) 1,661,400
	855,000		341,200		母体保護法指定医関係 513,800
	872,000		872,000		関係機関連携 0
	1,006,000		842,000		医師会共同利用施設対策 164,000
	900,000		0		社会貢献事業 900,000
	283,000		274,585		医政対策 8,415
	20,240,000		41		公費助成制度交付金 20,239,959
2 管 理	209,434,000	183,113,039	26,320,961	87.4	
(1) 報 酬	15,130,000	15,130,000	0	100.0	
	12,020,000		0		役員報酬 12,020,000
	3,110,000		0		報 償 金 3,110,000
	0		0		役員退職金 0
(2) 給 料 手 当	101,782,000	97,075,998	4,706,002	95.4	
	100,782,000		5,889,942		職員給料 94,892,058
	1,000,000		1,000,000		賃 金 0
	0		△ 2,183,940		職員退職金 2,183,940
(3) 福 利 厚 生 費	20,890,000	18,807,664	2,082,336	90.0	
	2,715,000		△ 126,696		役員厚生費 2,841,696
	18,175,000		2,209,032		職員福利厚生費 15,965,968
(4) 旅 費 交 通 費	16,000,000	8,171,760	7,828,240	51.1	
(5) 会 議 費	3,000,000	805,447	2,194,553	26.8	
(6) 需 用 費	18,350,000	15,302,941	3,047,059	83.4	
	6,500,000		1,084,613		消耗品費 5,415,387
	1,400,000		407,729		図 書 費 992,271
	4,000,000		1,984,539		印刷製本費 2,015,461
	3,850,000		△ 300,590		通信運搬費 4,150,590
	2,600,000		13,048		使 用 料 2,586,952
	0		△ 142,280		賃 借 料 142,280
(7) 備 品 購 入 費	3,000,000	547,800	2,452,200	18.3	
(8) 会 館 管 理 費	16,082,000	14,385,593	1,696,407	89.5	
	12,882,000		1,309,142		管理諸費 11,572,858
	3,500,000		800,037		光熱水費 2,699,963
	3,050,000		△ 26,368		清掃・空調メンテナンス委託費 3,076,368
	5,309,000		125,946		区分所有・営繕費負担金 5,183,054
	600,000		485,186		消耗品代 114,814
	423,000		△ 75,659		火災保険保険料 498,659
	2,000,000		71,212		修 繕 費 1,928,788
	1,200,000		316,053		賃 借 料(土地、駐車場) 883,947
(9) 渉 外 費	2,500,000	575,852	1,924,148	23.0	
(10) 公課並びに会費・負担金	12,200,000	11,746,386	453,614	96.3	租税公課10,055,511、会費540,875 寄附金1,150,000
(11) 雑 費	500,000	563,598	△ 63,598	112.7	
Ⅳ 借入金返済支出	9,000,000	9,000,000	0	100.0	
1 会館運営会員借入金返済支出	9,000,000	9,000,000	0	100.0	
Ⅴ 特定預金支出	23,046,000	125,869,499	△ 102,823,499	546.2	
1 役員退職金引当預金支出	16,600,000	16,600,000	0	100.0	
2 職員退職給与引当預金支出	6,446,000	9,269,499	△ 2,823,499	143.8	
3 財政調整積立預金支出	0	100,000,000	△ 100,000,000	-	
4 会館改修積立預金支出	0	0	0	-	
当期支出合計 (B)	486,904,000	499,672,380	△ 12,768,380	102.6	
当期収支差額 (A)－(B)	797,000	35,415,124	△ 34,618,124		

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業会計	その他事業会計	法人会計	当年度合計	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費及び受取入会金	0	0	253,746,610	253,746,610	262,260,970	△ 8,514,360
受取補助金	7,430,500	0	26,819,000	34,249,500	34,454,750	△ 205,250
委託費収益	68,563,246	0	19,012,970	87,576,216	51,423,619	36,152,597
受取負担金	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
雑収益	4,041,300	24,177,659	12,289,249	40,508,208	182,247,724	△ 141,739,516
経常収益計	85,035,046	24,177,659	311,867,829	421,080,534	535,387,063	△ 114,306,529
(2) 経常費用						
事業費	294,423,660	8,709,985	95,361,172	398,494,817	367,259,928	31,234,889
役員報酬	9,411,660	48,080	2,560,260	12,020,000	12,011,805	8,195
役員退職給付費用	11,952,000	166,000	4,482,000	16,600,000	16,533,000	67,000
給料手当	65,528,311	4,175,251	27,518,697	97,222,259	98,053,614	△ 831,355
職員退職費用	4,293,348	283,645	1,869,476	6,446,469	5,006,970	1,439,499
福利厚生費	12,951,962	827,537	5,454,223	19,233,722	19,196,152	37,570
消耗什器備品	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	23,290,142	359,557	4,510,610	28,160,309	26,845,218	1,315,091
諸謝金	9,860,448	4,840	795,580	10,660,868	7,741,788	2,919,080
印刷製本費	9,199,890	119,423	1,011,407	10,330,720	10,499,067	△ 168,347
広告広報費	7,239,600	0	0	7,239,600	9,400,600	△ 2,161,000
図書教育費	812,722	46,860	287,759	1,147,341	1,059,793	87,548
消耗品費	4,404,818	243,329	1,603,758	6,251,905	6,347,182	△ 95,277
渉外費	0	0	2,495,852	2,495,852	1,923,971	571,881
通信運搬費	7,809,704	189,386	1,203,671	9,202,761	9,429,415	△ 226,654
光熱水費	1,798,175	118,798	782,989	2,699,962	2,405,612	294,350
支払手数料	2,085,630	136,840	903,330	3,125,800	3,112,420	13,380
支払助成金	59,006,300	0	22,474,959	81,481,259	61,130,983	20,350,276
支払負担金	3,545,414	228,054	4,750,686	8,524,154	9,293,711	△ 769,557
支払寄付金	1,765,900	50,600	353,500	2,170,000	50,000	2,120,000
貸借料	2,517,432	45,154	297,606	2,860,192	2,763,508	96,684
リース料	1,722,910	113,826	750,216	2,586,952	2,249,714	337,238
修繕費	1,317,573	331,267	559,349	2,208,189	1,392,560	815,629
委託費	36,462,471	135,360	892,147	37,489,978	3,477,320	34,012,658
会議費	0	0	1,250,031	1,250,031	1,430,942	△ 180,911
諸会費	497,223	67,799	166,854	731,876	819,875	△ 87,999
租税公課	5,666,043	370,564	4,075,954	10,112,561	40,145,031	△ 30,032,470
保険料	440,447	21,941	144,611	606,999	599,500	7,499
雑費	1,644,208	18,110	159,933	1,822,251	373,658	1,448,593
減価償却費	9,199,329	607,764	4,005,714	13,812,807	13,966,519	△ 153,712
経常費用計	294,423,660	8,709,985	95,361,172	398,494,817	367,259,928	31,234,889
当期経常増減額	△ 209,388,614	15,467,674	216,506,657	22,585,717	168,127,135	△ 145,541,418
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 209,388,614	15,467,674	216,506,657	22,585,717	168,127,135	△ 145,541,418
一般正味財産期首残高	△ 1,705,095,456	143,554,839	3,733,513,196	2,171,972,579	2,003,845,444	168,127,135
一般正味財産期末残高	△ 1,914,484,070	159,022,513	3,950,019,853	2,194,558,296	2,171,972,579	22,585,717
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 1,914,484,070	159,022,513	3,950,019,853	2,194,558,296	2,171,972,579	22,585,717

年度は雑収益に山福株式会社の配当金の1億5,000万円があったためである。これに対し、経常費用は3億9,849万4,817円で、前年度に比べて3,123万4,889円の増となっている。これは新型コロナウイルス感染症関連で看護学校や休業医療機関への支援等、支払助成金が2,035万円、新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務の委託費が3,421万円増加した一方で、租税公課費が3,003万円減少したこと等によるものである。この結果、当期経常増減額は2,258万5,717円となり、前年度と比べて1億4,554万1,418円の減となった。期首残高の21億7,197万2,579円と合わせて、期末の正味財産の残高は21億9,455万8,296円となった。

令和3年度公益目的支出計画実施報告書について、支出計画は令和5年3月31日までとなっているが、当該年度末日（令和4年3月31日）の公益目的財産残額は982万824円となっている。この残額を令和4年度で全額消費する必要があるが、令和4年度末では公益目的財産額19億2,430万4,894円を超え、計画を完了できる見込みとなっている。なお、同報告書は、事業年度の経過後3か月以内に山口県知事に提出することになっている。

以上で令和3年度決算の説明を終わる。なお、決算内容及び公益目的支出計画実施報告書については公認会計士の点検を経て、監事の監査をいただいている。なにとぞ慎重にご審議のうえ、ご承認いただくようお願い申し上げます。

監査報告

岡田監事 令和3年度山口県医師会決算については、慎重に監査したところ、適正に処理され、その収支は妥当なものと認める。

令和4年5月19日

監事 藤野 俊夫

監事 篠原 照男

監事 岡田 和好

採決

矢野議長、採決に入る。議案第1号について採決に入る。賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第2号 山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件

矢野議長 次に、「議案第2号山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件」であります。

（事務局長、議案第2号を朗読）

この件については、5月19日開催の第190回臨時代議員会において当選人が決定しております。本日は、定款第32条第1項の規定に基づき、山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員の選任決議を行います。

今回の当選人は、第190回臨時代議員会において当選人と決議された方々であり、理事候補者17名、監事候補者3名、裁定委員候補者11名の選任について、役職毎に決議を行いと思います。が、ご異議はございませんか。

（「異議なし」との声あり）

ご承認ありがとうございます。それでは、全員賛成により、議案第2号について、理事当選人17名の選任決議に入ります。

会長候補者理事として加藤智栄 君、副会長候補者理事として、沖中芳彦 君、中村 洋 君、理事候補者として、竹中博昭 君、木村正統 君、岡 紳爾 君、前川恭子 君、藤井郁英 君、茶川治樹 君、藤原 崇 君、國近尚美 君、白澤文吾 君、上野雄史 君、伊藤真一 君、長谷川奈津江 君、縄田修吾 君、河村一郎 君、以上17名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

ありがとうございます。挙手全員ですので、17名を理事に選任決議いたしました。

続きまして、監事候補者3名の選任決議に入ります。

監事候補者として、宮本正樹 君、友近康明 君、藤野俊夫 君、以上3名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

ありがとうございます。挙手全員ですので、3名を監事に選任決議いたしました。

続きまして、裁定委員11名の選任決議に入ります。

裁定委員として、平岡 博 君、杉山知行 君、秀浦信太郎 君、砂川 功 君、三好正規 君、保田浩平 君、淵上泰敬 君、守田知明 君、伊藤正治 君、浅山琢也 君、小金丸恒夫 君、以上11名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員ですので、11名を裁定委員に選任決議いたしました。

よって、議案第2号は、原案のとおり決議いたしました。

議案第3号 山口県医師会役員（会長、副会長）選定の件

矢野議長 次に、「議案第3号山口県医師会役員（会長、副会長）選定の件」であります。

(事務局長、議案第3号を朗読)

この件につきましては、議案第2号同様に会長候補者、副会長候補者ともに、第190回臨時代議員会において当選人と決議された方々であり、役職毎に決議したいと思いますが、ご異議はございませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご承認ありがとうございます。それでは、議案第3号について、会長1名、副会長2名の選定決議に入ります。

会長の選定について、原案のとおり、加藤智栄君を会長に選定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員ですので、加藤智栄君を会長に選定決議いたしました。

次に、副会長の選定について、原案のとおり、沖中芳彦 君、中村 洋 君を副会長に選定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員ですので、沖中芳彦 君、中村 洋 君の2名を副会長に選定決議いたしました。

よって、議案第3号は、原案のとおり決議いたしました。

議案第4号 令和5年度山口県医師会会費賦課徴収の件

藤原理事 令和5年度の会費の賦課につきましては、第1号会員から第3号会員まで、すべて令和4年度と同様の内容となっている。また、日本医師会会費賦課額については、令和4年6月26日開催の第152回日本医師会臨時代議員会において決定した額とすることになっている。

議案第5号 令和5年度山口県医師会入会金の件

藤原理事 令和5年度山口県医師会入会金については、令和4年度と同様の内容となっている。

議案第6号 令和5年度役員等の報酬の件

藤原理事 一般社団法人山口県医師会定款第36条の規定により、理事及び監事に対して、代議員会において定める総額の範囲内で、代議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができるとされている。その額は、令和4年度と同額の1,202万円である。

採決

矢野議長、採決に入る。議案第4号、第5号及び第6号について一括採決に入る。賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第7号 顧問の委嘱に関する件

河村会長 顧問の委嘱につきましては、定款第38条に規定されており、代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっている。

つきましては、議案にお示しの18名に顧問の委嘱をしたいと思うので、ご承認をいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

採決

矢野議長、採決に入る。議案第7号について採決に入る。賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

次期会長挨拶

加藤次期会長 代議員の先生方、本日は役員の選

任・選定、誠にありがとうございました。第26代の会長として会を盛り上げていきたいと思っております。本日をもって退任されます河村会長、今村副会長、清水専務理事、郷良常任理事、山下理事、お疲れ様でした。新しく理事に選任されました、岡 理事、竹中理事、木村理事、藤井理事、國近理事、それから宮本監事、友近監事、県医師会へようこそお越しくださいました。

私と県医師会との関わりは、平成21年に広報委員に就任し、22年に日本医師会の代議員にさせていただき、24年からは理事として関わってきました。日本医師会には控除対象外消費税の問題や救急車の有料化の問題、それから、働き方改革や高額医薬品・医療材料の問題、医師の偏在の問題などいろいろなテーマについて質問しました。県医師会においては木下敬介 会長、小田悦郎 会長、河村康明 会長のリーダーシップのもとで、郡市医師会勤務医の会費軽減、JMAT やまぐちの創設、それから医学生のための臨床研修病院の見学実習、中高生のための医師職業体験、看護学校の支援強化、産業医の研修の充実、新型コロナウイルス感染症対策、記者会見などに関わってきました。

医療は社会的共通資本なので、さまざまな問題に対処しなければなりません。県医師会には県レベルの医療においてもさまざまな課題があります。最大の課題は若手医師の不足です。この問題に関しては当面、全力で力を注いでまいりたいと思っております。他にも、がん検診の検診率や特定健診の受診率の低迷、それから地域ごとに異なる医療機関の連携システムの問題などありますので、そういったところにも少しずつ対応していきたいと思います。私たち役員20名は事務局職員と力を合わせて、これまでの県医師会が改善を重ねてきたことを受けついで、さらに新たな改善を加えていきたいと思っております。代議員の先生方におかれましては、叱咤激励、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。

アナログ写真、デジタル写真を問いません。

ぜひ下記までご連絡ください。

ただし、山口県医師会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係

E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp

傍聴印象記

広報委員 岸本千種

第191回山口県医師会定例代議員会（令和4年6月16日）を傍聴した。

今回は役員の選任・選定があり、新会長に加藤智栄先生が選定された。副会長には、沖中芳彦先生と中村 洋先生が選定された。

令和3年度事業報告・決算報告と、議案審議は粛々と順調に進み承認された。コロナ禍で中止やWeb開催になった会議や行事が多かった中、実施された事業のうち、印象的なものを下記に箇条書きにした。

- ・郡市医師会保険担当理事協議会及び社保国保審査委員との協議会は原則、集合形式により開催した（感染防止対策を図った上で）。
- ・高齢者・障害者施設や医療機関でのクラスター発生時に患者搬送・医療支援をする対策チームへ登録し、県が実施する訓練や研修会へ参加した。
- ・山口県糖尿病療法指導士講習会を年4回開催し、合格者103名を「やまぐち糖尿病療法指導士」として認定した。
- ・オミクロン株による急速な患者増加に対応するため、郡市医師会を通して自宅療養者に対する健康観察や診療に協力いただける医療機関の拡充に努めた。
- ・山口大学医学部システムバイオインフォマティクス講座に「AIを用いた山口県におけるスギ花粉飛散予測に関する研究」をお願いし、協力した。
- ・医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー（e-learning 日本医師会）に参加した。
- ・医療事務作業補助者の活用が、勤務医の負担軽減に資することから、オンラインで研修会を開催した。

・育児支援として保育サポーターバンク活用の広報を行った。総相談件数は200件を超え、バンク登録者は80名を超えた。

・第104回山口県医学会総会が1年延期になっていたが、今年6月に岩国市で無事開催されたのも明るい話題である。

加藤新会長の挨拶では、地域医療の連携システムや若手医師に関する課題を取り上げられた。若手医師の待遇改善にも関連して、医師の働き方改革の稼働においても、外科医で勤務医の新会長は頼もしい。

質疑応答はなく、定例代議員会は1時間で無事閉会した。

引き続き同じ会場で、山口県医師会表彰式があった。このたび退任された元役員や功労者の先生方に、加藤会長から感謝状が贈呈された。喜寿を迎えられた長寿会員の先生方も4名出席され、和やかな雰囲気であった。「医学医術に対する研究による功労者表彰」の宮内善豊先生が、受賞者の皆様を代表して、活力に満ちた温かい挨拶をされた。

今回は、いつもの県総合保健会館ではなく、湯田温泉のホテルかめ福で開催された。リニューアルしたばかりの2階ロイヤルホールは、落ち着いた色調で美しく、空調も音響も快適だった。1階玄関の奥は、まだ工事の真っ最中で、ちょっと珍しい眺めであった。でき上がったところから使い始めるという考え方が柔軟かつ前向きで、今夏的全館オープンが楽しみである。